

## 福島県の落葉果樹における 2013年凍霜害の果実生産への影響

福島県で発生した2013年3月27日と4月13日未明の強い降霜について、ナシ、リンゴ、モモ、オウトウ、スモモ、ブドウの花器へ及ぼす影響を調査しました。

### ☆ 技術の概要

1. 凍霜害が発生した3月27日の最低気温は-5.4℃(午前5時30分)、4月13日の最低気温は-3.1℃(午前4時30分)でした。
2. 花器の被害率は、ニホンナシ(花弁露出期)が11.5~83.8%、リンゴ(花蕾露出期)が3.9~72.0%、スモモ(開花盛)が44.4%、モモ(開花始期)が4.9%、オウトウ(発芽期及び花弁露出期~開花始)が60.0~84.0%でした。
3. ニホンナシにおける収量を前年と比較すると、幸水が108~125%、豊水が104~131%、新高が46~115%、涼豊が60~82%で、新高の一部と涼豊は減収となり、被害率40%未満の品種では減収とはなりませんでした(図1)。

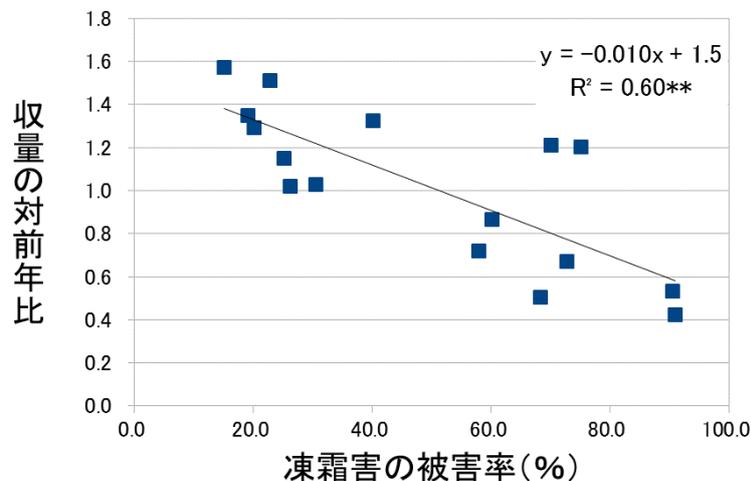


図1 凍霜害の被害率と収量の対前年比  
(対前年比:2013年収量÷2012年収量)

### ☆ 活用面での留意点

1. この時期の降霜による被害は過去にも認められていますので、万全の体制で凍霜害対策にあたってください。
2. 詳細については、福島県農業総合センター果樹研究所栽培科  
(電話 024-542-4951 電子メール [saitou\\_yuuichi\\_02@pref.fukushima.lg.jp](mailto:saitou_yuuichi_02@pref.fukushima.lg.jp)  
にお問い合わせください。(果樹研究所 企画管理部 研究調整役 岩波 徹)